

平成 29 年 5 月 30 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 29 年 5 月 30 日 (火曜日)

午後 1 時 30 分から午後 2 時 40 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 謙 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	中村 仁
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	大野 宏
青少年育成課長	伊津 芳彦	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	スポーツ振興課長	川上 英樹
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	柳沢 学
学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之	学校教育課指導主事	古川 真哉

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 星野 麻美 教育総務課庶務係長 佐藤 裕
教育総務課庶務係 内藤 貴幸

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 23 号	条例改正の申出について（長岡市立学校使用条例の一部改正）
3	第 24 号	補正予算の要求について
4	第 25 号	附属機関委員の委嘱について

7 会議の経過

（高橋教育長） これより教育委員会 5 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

（高橋教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 23 号 条例改正の申出について（長岡市立学校使用条例の一部改正）

（高橋教育長） 日程第 2 議案第 23 号 条例改正の申出（長岡市立学校使用条例の一部改正）について を議題とする。事務局の説明を求める。

（中村教育施設課長） 平成 3 年 3 月以来休校している長岡市立太田小学校竹之高地分校の廃止に伴い、学校運動場使用料を定めた長岡市立学校使用条例の別表の 2 から長岡市立太田小学校竹之高地分校の項を削るものである。改正した条例の施行日は平成 29 年 7 月 1 日を予定している。なお、分校の設置は長岡市立学校分校設置規則に規定されており、規則の廃止については 6 月定例会に議案として提出する予定である。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(羽賀委員) 竹之高地分校は、沢沿いにある学校か。

(中村教育施設課長) そうである。高龍神社の奥にあり、鉄筋コンクリート建てで
1階に体育館、2階3階に教室がある建物である。

(羽賀委員) その建物は取り壊すのか。

(中村教育施設課長) 取り壊すかどうかは未定であり、これから検討する。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議な
いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第24号 補正予算の要求について

(高橋教育長) 日程第3 議案第24号 補正予算の要求について を議題とする。
これについては公表前であるので、非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の
方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とするので、関係者以外の退席を願う。

————— 会議規則第20条第2項の規定により記録中止 —————

(高橋教育長) 非公開はここまでとするので、退席者の再入室を求める。

◇日程第4 議案第25号 附属機関委員の委嘱について

(高橋教育長) 日程第4 議案第25号 附属機関委員の委嘱について を議題と
する。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 長岡市子ども・子育て会議委員について、前任者の退任に伴
い、新たな委員を委嘱するものである。任期は平成30年6月30日までである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議な

いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、教育に関する事務の点検及び評価方針について 事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成28年度に教育委員会が実施した事務について点検及び評価を行う。点検・評価項目は、教育委員会会議の開催及び審議状況と、長岡市教育振興基本計画の具体的な取組及び成果や今後の方向性等についてである。また、新教育委員会制度への移行に対応するとともに、より効率的な会議の運営を図るため、点検・評価の流れを見直したいと考える。新教育委員会制度においては教育委員の教育長及び事務局へのチェック機能の強化が求められていることから、今年度は事務局の自己点検の内容に教育委員の意見を反映させた報告書を作成し、事務評価委員から評価を受ける流れに見直す。昨年度3回行った事務評価委員会は今年度1回の開催とする。具体的には、6月27日の教育委員会協議会にて教育委員からの意見を求め集約し、7月20日に事務評価委員会を開催し、8月23日の教育委員会定例会にて報告書を議決し、9月の市議会に報告するというスケジュールで行う。学識経験者の知見の活用をするため、教育分野、子育て分野の計4名の事務評価委員の意見を報告書に付し、最終報告書とする。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 教育委員と事務評価委員の合同の会議はあるのか。

(曾根教育総務課長) 昨年度は第2回事務評価委員会において意見交換の場があったが今年度は設けていない。第1回教育委員会協議会において、教育委員から事務局の作成した報告書について意見をいただき、まずは教育委員会としての報告書を固めたいと考えている。

(高橋教育長) 他に、質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 今までは教育委員を含めた教育委員会が事務評価委員に評価をされていたという印象だが、今年度からは、まず、事務局は教育委員に点検結果を報告し、その点検結果について教育委員の意見を反映させることとした。新教育委員会制度において教育長が事務局も教育委員会も代表する形になり、より近い立場にある教育委員から厳しい目で意見をいただくのは、制度の趣旨からも良いと考える。奇譚のない意見をお願いしたい。

(高橋教育長) 次に、平成 29 年度全国学力・学習状況調査問題及び長岡市教育委員会分析の概要について事務局の説明を求める。

(古川学校教育課指導主事) 4月18日に市内全小中学校において調査が行われた。太田小学校は対象の6年生児童の在籍がなかったため実施されなかった。問題数は例年並みであり、国語、算数・数学ともに日常の生活や委員会活動、授業の中での学習活動など普段の場面からの出題が多い傾向であった。今年度の問題分析は、昨年度の調査結果からみられた長岡市の課題に関連する問題に注目した。小学校の国語については、昨年度は、漢字を書く力が弱く、特に熟語の定着や、情報を的確に捉え自分の考えを書くことに課題があった。今年度は、A問題に資料から必要な情報を見つけて読む力が求められる問題や熟語の漢字を書く問題、B問題に文章から目的に応じて引用する文章を選ぶ力が求められる問題やアドバイスの文章から理由を捉え必要な内容を整理して書く力が求められる問題が出題された。小学校の算数については、昨年度、小数や分数を含む計算の技能や、式の表し方や活用、または数値の意味を解釈することに課題があった。今年度は、A問題に小数点をそろえて計算する技能、かけ算の際の小数点の処理、商の分数での表し方の理解を求められる問題、B問題に題意を読み取り、規則性を見つけ、式を用いて表したり、式と図を関連付けて考察したり説明したりする力が求められる問題が出題された。中学校の国語については、昨年度、書写についての理解や、文書から適切に情報収集し、解決の見通しを持つことに課題があった。今年度は、A問題に漢字で書く問題や行書の特徴である「点画の省略」「点画の連続」を指摘できるかを求める問題、B問題に複数の資料から必要な情報を読み取り、効果的な文章に表現する力が求められる問題や、課題を決め、材料を集めながら自分の考えを記述する力が求められる問題が出題された。中学の算数については、昨年度、文字式で表すことや意味を解釈

すること、関数領域の理解や、記述問題で理由や方法を説明することに課題があった。今年度は、A問題に文字式や比例定数の理解が求められている問題、B問題にグラフから傾向を読み取り、条件を満たす値を求める方法を説明したり、文字を用いて表された式の意味を解釈し、式を活用して変域を求めたりする力が求められる問題が出題された。B問題は難易度が高いため、全国的に正答率が低い事が予測される。長岡市の子供の説明する力や書く力がよく育まれるように調査結果が出たら分析を行い、その結果を教育センターの指導主事と情報共有しながら、各学校の訪問や研修講座の指導事項に活用していきたい。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(鷲尾委員) 市全体の問題傾向とあるが、学校別に調査結果は出ているのか。

(古川学校教育課指導主事) 出していない。

(鷲尾委員) 各校長は、自校の弱い分野、平均値との差異などはわからないのか。

(古川学校教育課指導主事) 各学校は自校の数値を持っているため把握できている。

(高橋教育長) 他に質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 次に、寺泊地区保育園の再配置について事務局の説明を求める。

(大野保育課長) 寺泊地域委員会から平成29年3月24日付けで要望書が提出された。要望事項は、市立本山保育園、市立白岩保育園、休園中の市立野積保育園、私立寺泊保育園を統合し、寺泊保育園が主体となり園舎の建設・運営を行うことである。地域委員会において、地区児童数の減少により集団保育が困難になることや、延長保育や一時保育などニーズが多様化したこと、施設の老朽化などの課題に対して協議をした結果、要望書の提出に至った。それを受け長岡市は、地元の要望を尊重し、平成32年4月に民設民営方式による統合新設保育園の開園に向け、準備を進める方針である。新保育園建設地は寺泊支所隣接地を予定している。今年度中に寺泊地域委員会と各園の保護者等への説明を行い、平成30年度に新園舎の設計、平成31年度に新園舎を建設、平成32年度に開園というスケジュールで進めていく。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 各園の保護者の説明に入りつつあるとのことだが、その反応や感触はどのようなであったか。

(大野保育課長) 白岩保育園にて説明を行った際、なぜ寺泊保育園が主体となるの

か、新園舎を建設するのはもったいない、などの意見が出たが、大きな反対はなかった。地域委員会においては、保育園だけではなく、子育ての駅や児童クラブはどうなのか、という意見が出た。保育園の統合に関しては子どもの数が少ないため、致し方ないとの意見が大部分であったと感じた。

(高橋教育長) 児童減少により、集団保育で社会性を身に付けるという保育の目的を果たすことが難しくなる。それを解消することが重要であり、その点をしっかり伝えることが必要である。

(高橋教育長) 次に、長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明を求める。

(伊津青少年育成課長) 国の要綱改正に伴い、民間団体が実施する児童クラブの運営費を補助するために制定した要綱について、補助基準を改定するものである。予算に影響はあるが、既決予算の執行残で対応できると考える。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(高橋教育長) これまでも年度途中での金額の変更はあるのか。

(伊津青少年育成課長) 調査しないと不明だが、いずれにしても影響額が小さいので、対応できる範囲内である。

(高橋教育長) 次に、平成 29 年度長岡市成人式（5 月 3 日開催分）について 事務局の説明を求める。

(伊津青少年育成課長) 当日は晴天に恵まれ、長岡地域では 1,800 人の新成人と 1,200 人の家族などが出席し、5 地域合計では 2,130 人の新成人が出席した。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(高橋教育長) 出席した委員から感想を求める。

(鷲尾委員) 小国地域の成人式に出席した。式典前に、施設長や市議会議員などと懇談をしたなかで、地域の方は参加している子どもの顔をほとんど知っており、地域が一体化しているのを感じることができた。また、旧小国町時代と違い、現在の人口減少社会における地域の疲弊感を残念だと話をしていました。

(羽賀委員) 地域で式典を行うことは、地域の目があり出席者が騒がず、地域で育てられたという自覚を芽生えさせ、良いと感じた。

(大久保委員) 羽賀委員と同意見で、地域に見守られているという意識が生まれる

と感じた。

(青柳委員) アオーレ長岡での式典に出席したが、5年前に出席した時と違い、正しいあり方の成人式であり、気持ちよく楽しむことが出来た。ナカドマを塞いだ事が良かったと思う。

(高橋教育長) おごそかな雰囲気 of 式典を望む方がほとんどであるため、騒ぐ人間が出るのを防ぐための雰囲気づくりを事務局が工夫した。事務局はこのままのやり方で取り組んでほしい。

(羽賀委員) 開催場所がアオーレ長岡になったことにより、会場スペースが広くなり親族が式典に参加できるようになり良かった。

(高橋教育長) 次に、平成28年度「広めよう！市P連ルール啓発標語コンテスト」について事務局の説明を求める。

(伊津青少年育成課長) 平成27年度、SNS等に関する長岡市P連ルールを定めた。平成28年度にそれを広めようという意味で、保護者の部を追加し、啓発標語コンテストを開催した。1月末までに1,202件の応募があり、平成29年3月4日の審査会において3部門21点を選出し、5月25日の市P連の総会において表彰式を行った。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(大久保委員) すべての応募データを確認した。特に低学年の子どもから、ママやパパはスマートフォンやゲームをしていて自分を見てくれないという声が多くあり、今後はこの点を問題提起して親向けの啓発をする必要があると感じた。また、学校ごとの偏りがみられたが、学校ごとの申し込みだったのか。

(鷲尾委員) 私が市P連会長として、平成27年度にルールを策定する際に、市P連全体としてではなく、それぞれの中学校区ごとに連携して啓発活動をして欲しいと言った。地域で差はあるが、標語を選出して終わりではなく、市P連として継続してやっていこうと決めたので、必ず良い方向に行くと思っている。

(高橋教育長) 市P連会長との懇談のなかで、他の団体との連携が大事であり、今回のコンテストは学校の先生方も巻き込む形でできたため、多くの標語を集められた、と言っていた。また、保育園の視察の際に、運動会で保護者が園児を応援せずずっとスマートフォンを操作しているため、園児の頑張る気が起きない、という話

もあった。

(羽賀委員) 警察を巻き込む必要もあると感じている。自分がバイクに乗っているとき、運転手がスマートフォンを操作しており、危険で怖い思いをしたことが何回もあった。子どもたちを巻き込んでほしくない。重大な事故になった時に取り返しがつかない。

(青柳委員) 買い物の際にも危険な場面を目撃した。小さい子がスマートフォンを操作しながら周りを見ておらず、お年寄りにぶつかり、転倒させてしまいようなことがあった。

(波多子ども未来部長) 学校ごとに偏りがあった原因として、標語コンテストを冬休みの宿題とし、学内選抜をして応募したところがあった点も挙げられると思う。子どもから親へ、スマホより自身をみてほしいという標語が出てきた一方で、親からもSNSをやめようという意見が出てきており、良い傾向になっていると思う。

(竹内学校教育課長) 学校への標語の配信については、コンピューター室のパソコンの毎日の起動時に、画面に2つ程の標語が表示される、という取組をしたい。

(波多子ども未来部長) 警察にも標語を伝えたいと考えている。

(高橋教育長) 次に、オーストラリアクイーンズランド州競泳チーム事前キャンプ受入れ及び交流事業の実施について 事務局の説明を求める。

(川上スポーツ振興課長) 平成29年3月28日に長岡市とオーストラリア水泳連盟が、2020東京オリンピック・パラリンピック大会等の事前キャンプに関する連携協定を締結したことに伴い、5月15日から4日間、計22名の競泳チームが長岡にてキャンプを行い、市内の子供との交流事業にも参加した。関係各所の協力もあり、大変好評に終わることができた。交流事業では、中学生61人がオーストラリアのコーチから指導を受け、引率した指導者も含め、良い刺激を受けたとのことであった。また、市内選手や市内高校生との合同練習も行った。今後は、協定で4つの事前キャンプの受け入れが約束されている。オーストラリアはリオオリンピックにおいて、メダル10個を獲得している強豪チームであり、地方都市で事前キャンプを誘致できるのは長岡ならではの機会であり、教育委員会からの協力をお願いしたい。

(高橋教育長) 質疑・意見はないか。

(高橋教育長) キャンプ時の選手の食事は地元長岡食なのか。それとも長岡の食材を使い、オーストラリア食を用意するのか。

(川上スポーツ振興課長) 今回はクイーンズランド州選抜競泳選手団であったため、こちらで食事を用意した。ただし、ナショナルチームの場合は、栄養を管理するスタッフと入念に打ち合わせをした後、食事を用意することになると思う。基本的には今回同様ビュッフェ形式の食事提供となると思う。

(高橋教育長) 個人的には、茹でたての枝豆など地元長岡のものを召し上がっていただき、感想を聞いてみたい。今後も工夫を凝らしてほしい。

(鷲尾委員) どこに宿泊したのか。

(川上スポーツ振興課長) 主にホテルニューオータニ長岡に宿泊した。

(羽賀委員) 上小国小学校は、ニューサウスウェールズハイスクールと交流を持っていた。交流事業において何本かの柱があったほうが良いと考えるので、統合後の小国小学校も交流を続けたほうが良い。また、オーストラリアは第二外国語が日本語であるので、日本語を伝える事をアピールした方が良い。

(川上スポーツ振興課長) 今回のチームにおいて、日本語に興味のある女子選手が多かった。小国小学校との交流については、事前キャンプを招致した効果をどのように出して行くのか、今後他部署と連携しながら協議していきたい。

(羽賀委員) スカイプの活用も検討してほしい。

(高橋教育長) 以上で、協議報告事項を終える。

(高橋教育長) 次に、催し案内について、補足説明のあるものは挙手願う。

(竹内学校教育課長) 一流の実績を持つスポーツ関係者を講師として迎えた夢先生の授業を6月6日から9日まで行う。また、ふれ愛芸術体験事業を2つ行う。6月23日には、長岡出身の日本画家・大矢紀さんから六日市小学校にて絵画の指導をしていただく。

(金澤教育部長) 夢先生の授業は第4弾まで計画しており、6月に行うのはその第1弾である。

(小熊科学博物館長) 与板歴史民俗資料館にて与板藩井伊家名宝展を開催している。徳川四天王・井伊直政が徳川家康から拝領した、与板藩の家宝である「孔雀の陣羽織」を展示している。通常は傷みやすいのでレプリカを展示するのだが、NHK大

河ドラマの放映にあわせて与板の歴史をPRするため、期間限定で本物を展示している。また、与板にある井伊神社から寄託された資料も展示しており、中でも「兼光」という刀は名刀として伝わっている。10月から陣羽織を彦根市に貸すことが決まっており、代わりに彦根城博物館より「関ヶ原合戦図」の屏風を借りている。これらの展示がすべて揃っているのが6月11日までであり、ぜひお立ち寄りいただきたい。

(高橋教育長) 陣羽織は彦根市から戻ってきたあとも本物を展示するのか。

(金澤教育部長) もう1度展示の機会を設けたいと考えている。

(高橋教育長) 兼光も貸出をするのか。

(金澤教育部長) 貸出する。井伊神社の刀は三振りあり、兼光を含めた二振りを貸し出す。

(羽賀委員) 井伊家の本家は与板なのか。

(小熊科学博物館長) 与板ではない。

(山田中央図書館長) 文書資料室より活動報告として年に1回長岡あーかいぶを発行している。その中で、長岡市史双書「温古の栞」の発行に関しての記載があるが、文書資料室は市史編纂室の業務を引き継いでおり、毎年市史双書を発行している。長岡市史双書を読む会が7月から始まるので、ぜひお越しいただきたい。

(大矢子ども家庭課長) ファミリー・サポート・センターの活動だよりが発行された。年1回発行しており、会員約1,300人や保育園・幼稚園に配布している。あまり目立たない活動ではあるが、この機会にご覧いただきたいと思う。また、児童虐待防止につながる講座を6月から7月にかけて開催する。この講座以外にも母親向けや小中学校保護者向け、保育園への出前講座も予定している。そして、6月5日に子育ての駅千秋てくてくにて、東京フィルコミュニティコンサートを行う。3年連続の開催である。

(高橋教育長) コンサートは、今までの観客の入り具合はどうであったか。

(大矢子ども家庭課長) 大変好評であった。当日駐車場が足りなくなり、急遽目の前の駐車場や陸上競技場の駐車場を借りたほどであった。

(波多子ども未来部長) 子育てで心身ともに余裕がなく、久しぶりに本格的な音楽に触れたと涙ぐむ母親もいた。

(高橋教育長) 子どもが騒いでも良いという環境下で行う、大変意味のあるコンサートであると思う。

(伊津青少年育成課長) 6月11日にアオーレ長岡にて、こどもフェスティバルを行う。小学生、幼児、保護者を対象に、ポイントラリーや様々な遊びが体験できるコーナーなどを予定している。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員